

# 舞台美術とビジュアル・コミュニケーション・デザイン

文教大学大学院情報学研究科 教授 藤掛 正 邦†

Masakuni Fujikake†

あらまし 20世紀のシュトラウスと讃えられウィーン・オペレッタを代表する作曲家ローベルト・シュトルツの愛と青春を描いた、寺崎裕則芸術監督が演出するジャパン・オペレッタ「ローベルト・シュトルツの青春」の舞台美術を紹介します。

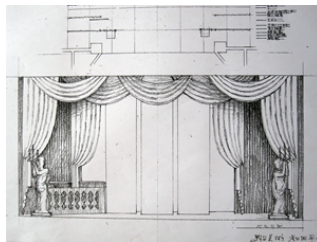
キーワード：日本オペレッタ協会 ローベルト・シュトルツ 台本 舞台美術

## 1. はじめに

1977年に創設した(財)日本オペレッタ協会は、西欧音楽劇の基礎を日本に普及させるため、公演、歌、芝居、踊りなどが三位一体にできる歌役者とコーラスを養成する創造部門とそれを支援する観客を育成する鑑賞部門の両輪で、日本の文化の顔をもつオペレッタを創造し日本に普及させ、海外公演を行い世界に発信し国際的な文化交流を行ってきた。創立者は寺崎裕則(てらさきひろのり)芸術監督・文学座演出部に入座。三島由紀夫とともに浪漫劇場を創設し三島演劇を上演。劇作家宇野信夫に師事した。1960年より新歌舞伎座の演出に携わる。文化庁在外研修員として演出家ヴァルター・フェルゼンシュタインに師事。現在、松竹演劇部嘱託、新国立劇場評議委員、文化庁長官表彰受賞。



筆者と寺崎監督(右側)



和田平介作舞台美術画

## 2. ローベルト・シュトルツの人生と曲のオペレッタ

寺崎監督は、ウィーン・オペレッタを代表する人気作曲家ローベルト・シュトルツの人生と曲を基に台本を作成した。2001年11月3日・4日にハンガリーから音楽監督・指揮に、ヴァーラディ・カタリン氏を招き、新国立劇場中劇場で斬新なオブジェと回り舞台や上下移動床など舞台機構を駆使した「二人の心はワルツを奏で」ローベルト・シュ

トルツの青春」を芸術監督・演出・上演した<sup>2)</sup>。2012年2月25日・26日では傍題と題名をひっくり返し「ローベルト・シュトルツの青春=二人の心はワルツを奏で」を北とびあ・つつじホール全体を駆使し観客を巻き込み感動させた<sup>1)3)</sup>。1988年日本オペレッタ協会の活動を知ったシュトルツ夫人のインツィーン女史から寺崎監督に手紙が来て以来、2004年91歳で亡くなる前迄、ウィーンに行けばお会いし、シュトルツの仕事場でお二人の劇的な出会いや作曲の話題で時を忘れて話し合ったりして交流を続けた。それが源流となり1994年、1997年、2004年シュトルツの音楽を基にしたオペレッタ「春のパレード」を上演してきた。寺崎監督はシュトルツの音楽を「クラシック音楽の基礎を持ちながら誰でも親しめ楽しめる音楽だ」と述べている。

## 3. 2012年「ローベルト・シュトルツの青春」

舞台美術は空間のデザインや組み上げられた作品を指す。俳優やダンサーが空間内で演技して最終的な完成形態に至る。2012年1月末、演出家の寺崎監督より舞台背景で映すスライド画の協力の要請があり、不安定な空間感ある画が4種採用された。舞台美術家は和田平介氏(左図)。シュトルツの波乱万丈の半生実話を基に作った台本はシュトルツ夫人のインツィーン女史が最愛の夫と結ばれるまでが描かれた。第一幕は「ウィーンの春」。第二幕一場「ベルリンへ」1914年、第一次大戦勃発後、第3人目の妻フィニと再婚、離婚。1929年世界大恐慌で株価暴落、貧困がドイツを襲い大衆は娯楽への逃避を望みシュトルツのオペレッタ映画は大当たり音楽人生の黄金期へ。1933年ヒトラー政権誕生。第二幕第五場4人目の妻リリーとパリへ亡命、離婚。無一文の敵国人として逮捕され7万人の囚人のいるサッカー場に放り込まれ肺炎、気絶。恋人インツィーンが全財産を投げ打ち収容所長を買収し救出。ハリウッド映画の契約までしていた。第二幕第六場「永遠の愛」NYでインツィーンと再会。

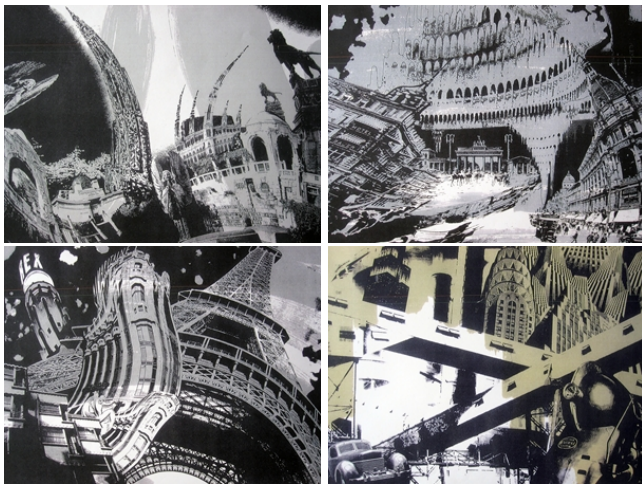
2012年9月24日受付

〒 253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷 1100

fujikake@shonan.bunkyo.ac.jp

† Graduate School of Information and Communications,  
Bunkyo University

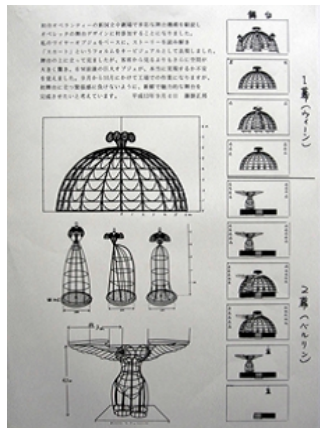
1100 Namegaya, Chigasaki, Kanagawa 253-8550, Japan



藤掛作スライド画(上:ウィーン,ベルリン,下:パリ,NY)

#### 4. 2001年「ローベルト・シュトルツの青春」

2001年5月,寺崎監督から舞台美術空間構成とオブジェデザインの依頼があった。知人の藤代暁子氏がステージ衣装で参加されていて寺崎氏に紹介した。2012年のオペレッタは平面画協力,2001年は空間とオブジェデザインの依頼。台本を熟読後,アイデアを練った。シュトルツにとって女性は音楽の泉だった。キューピットは彼を何度も結婚へ導いたが愛の女神の悪戯で結婚という言葉は至福にも呪いにもなった。愛と幻滅の悲しみは,更に愛を求めそれが豊かな創作力の源泉になった。造形コンセプトとして「スカート」が閃いた。スカートのフォルムで台本進行上の場所,時代,女性の変遷を表現し,舞台上に5種類の巨大「スカート」オブジェが次々に現れ,出演者達が絡むアイデアだ。ウィーン時代は「パニエ(鳥かご)」,ベルリン時代「コルセット(退廃)」,パリとNY時代は「ロングスカート」の3種で時代性を現した。途中5回スタッフ打合せ。6月25日,舞台美術家の太田創氏と顔合わせ。スカート模型(高さ20cm)を多数作り,8月1日,西麻布オペレッタホールの稽古場で寺崎監督とスタッフにプレゼンし好感触を得た。8月7日,新国立劇場中劇場の舞台裏を見学。舞台正面は縦9m×横14m,奥行き24mの体育館のように感じた。何も無い長方形空間に4ヶ月で台本に命を与える巨大造形物を出現させることへの不安を感じた。直径12mの大盆が回りだすと,奥の床が動きだし手前の床が下へ引っ込み,上からセットが降り,横から山台が人力で移動する新国立劇場中劇場の機構を最大限利用する方向へ。8月10日奥畑康夫氏(照明),太田創氏(美術)と



打ち合わせ。9月4日構想完成。羽田埋立地にある舞台美術金物製作(有)オサフネ製作所にスタッフと行き模型と図面を渡し発注した。模型と同フォルムの高さ6mオブジェが10月に完成し感動。その後,TV・映画の舞台装置製作会社C-COMで最終仕上げ,山台制作,小道具が同時進行した。2001年11月1日搬入,11月2日リハーサル,11月3日・4日新国立劇場中劇場で上演となり賞賛を受けた。



#### 5. おわりに

オペレッタもオペラ歌劇の一種で,滑稽・軽妙な筋書きのオペラのことをいう。このオペレッタがイギリスへ渡り,ミュージカルへと変貌し,さらにミュージカルが大西洋を渡りアメリカで花開き,20世紀の一大商業音楽劇として確立されてきた。2012年2月,北とびあ・つつじホールでのシュトルツの曲,歌,演出,照明の魅力を再認識した。

#### 〔文 献〕

- 1) オペレッタ「ローベルト・シュトルツの青春=二人の心はワルツを奏で」(財)日本オペレッタ協会発行,2012。
- 2) オペレッタ「二人の心はワルツを奏で=ローベルト・シュトルツの青春」(財)日本オペレッタ協会発行,2001。
- 3) DVDVIDEO オペレッタ「ローベルト・シュトルツの青春=二人の心はワルツを奏で」(財)日本オペレッタ協会発行,2012。



ふじ かけ まさ くに  
藤掛 正邦 1956年東京都生まれ。1982年東京藝術大学美術研究科修士課程修了。修士(視覚デザイン)。同年4月(株)電通入社。1989年退社,独立。2003年4月より文教大学情報学部助教授に着任。2007年同教授および大学院情報学研究科教授。2011年4月より情報学研究科情報学専攻長。主としてグラフィックデザイン,広告表現,立体造形などに従事。主な著書は,PARADISE(ARTBOX),METALOB-JETS(ARTBOX),hotelrachel(ARTBOX)。情報学研究科では「グラフィックデザイン」を担当。